

保安防災・BCP

日本曹達グループは、重大な設備災害を防止し、安全で安定した生産活動を継続するために保安防災活動を推進しています。また、製品・サービスの安定供給に向けて、BCP(事業継続計画)の継続的改善に取り組んでいます。

基本的姿勢

- 各製造事業場にて、設備の定期点検、修理更新工事、操業オペレーター教育を実施。
- 事故や災害を想定した訓練・教育を継続し、危機管理体制を強化。
- 設備の新設、改良工事の際には、社内専門家による安全性の検証を実施。外部専門家による定期的な防災診断も受審。
- 大地震などの自然災害をはじめ、甚大な被害をもたらす危機が発生した場合を想定し、BCPの定期的な見直しと改善を実施。

保安防災

リスク管理

保安防災リスクアセスメント	設備・機械、製造プロセスの保安防災リスクアセスメントによるリスク評価を行っています。抽出された課題に優先順位をつけ、設備保全や点検などの対策を順次実施しています。
危機管理体制の整備	事故や災害を未然に防止することを最優先としています。一方、万一の事故や災害など、緊急時に備えた危機管理体制を整えており、定期的な訓練などで整備状況を確認しています。
緊急対応への行動基準	災害や事故の発生時に、迅速かつ適切に連絡、処置、指揮を行えるよう行動基準を定め、定期的に見直しで改定を行うとともに、訓練でその効果を確認しています。

安全管理

▶ プラントの安全を確認する安全監査

設備の新設、改良工事などにおいてプロセス上の安全を確保するため、責任者および社内専門家による安全審査・監査を行い、安全・環境・品質などの側面からの設備や操業内容の検証を行っています。

製造系グループ会社の設備については、RC定期監査において製造設備の管理状況を監査し、保安防災の改善活動につなげています。

防災教育と訓練

従業員の安全確保のための知識、スキル習得を目的に、さまざまな保安防災教育、訓練を実施しています。今後も「重大設備災害ゼロ」を目標に、さらなるレベル向上を目指した保安防災活動を推進していきます。

▶ 集合研修

各事業場、各部署ではCSR活動計画に従い、定期的に教育・訓練を継続的に実施しています。また、製造事業場に配属される製造職新入社員に対しては、新入社員教育として製造系研修プログラムを実施。安全面や基本的現場作業に関する体験教育を含めた教育訓練を行っています。

なお、2020年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止しました。

▶ 地域と一体になった防災体制

定期的な防災訓練の中で、近隣工場や自治体と一体になった共同防災訓練を行っています。

本社試運転前安全監査の実施状況

① 二本木工場 2020年4月7日

セルロース誘導体中規模供試設備工事試運転前安全監査

書類、現場監査の結果、28件の指摘事項に関して全項目の対策を行い、試運転を終了しました。

② 二本木工場 2020年9月11日

排水インフラ総合対策工事試運転前安全監査

書類、現場監査の結果、16件の指摘事項に関して全項目の対策を行い、試運転を終了しました。

③ 二本木工場 2020年12月4日

HPC Eライン増産工事試運転前安全監査

書類、現場監査の結果、33件の指摘事項に関して全項目の対策を行い、試運転を終了しました。

④ 二本木工場 2021年3月4日

Mg-E球状微粒品増産工事試運転前安全監査

書類、現場監査の結果、45件の指摘事項に関して全項目の対策を行い、試運転を終了しました。



排水インフラ総合対策工事試運転前安全監査
(二本木工場、2020年9月11日)



HPC Eライン増産工事試運転前安全監査
(二本木工場、2020年12月4日)



Mg-E球状微粒品増産工事試運転前安全監査
(二本木工場、2021年3月4日)

▶ 第三者による防災診断

日本曹達ならびに製造系グループ会社は、SOMPOリスクマネジメント(株)の防災診断を受審しています(2020年度は新型コロナウイルス感染防止のため、中止しました)。

保安防災・BCP

▶ 地域と一体になった防災体制

日本曹達の各事業場では、定期的な防災訓練の中で、近隣の工場や自治体と一体になって共同防災訓練を行っています。地域ごとに異なる環境や実態に合わせた災害状況を想定することで、現実に即した内容で防災訓練を実施しています。



工場総合防災訓練
(千葉工場・千葉研究所、2020年6月12日)



有害物(NaOH)漏洩時の対処訓練
(水島工場、2020年7月15日)



春季工場総合防災訓練
(二本木工場、2020年7月30日)



情報提供指揮権委譲訓練
(千葉工場、2020年8月26日)



環境異常対処訓練
(高岡工場、2020年10月7日)



製品輸送時の事故処置訓練(図上訓練)
(水島工場、2020年10月19日)



秋季工場総合防災訓練(NBL)
(高岡工場、2020年11月5日)



秋季工場総合防災訓練
(二本木工場、2020年11月16日)



夜間休日想定工場防災訓練
(千葉工場、2021年2月18日)

保安防災・BCP

防災訓練実施状況 (2020年度)

	上期 (実施日時)	下期 (実施日時)
二本木工場	春季工場総合防災訓練 (2020年7月30日) 高圧ガス防災事業所通報伝達訓練 (2020年7月17日) 緊急通報実駆け訓練 (2020年8月25日)	秋季工場総合防災訓練 (2020年11月16日) 高圧ガス防災事業所通報伝達訓練 (2021年2月17日)
高岡工場	緊急連絡訓練 (おつたえ君) (2020年4月23日) 春季工場総合防災訓練 (中止) 樋管受入排水異常時の初動対応教育・訓練 宿直副司令対象 (2020年6月8、9、12日) 宿直司令対象 (2020年6月23、25、26日) ※環境異常対処訓練代替 夜間通報訓練 (有機2、製剤、NBL) 3日間 (2020年8月18、19、20日) 緊急呼出訓練 (出社のみ) 予告なし (2020年8月25日) 119番通報連絡訓練 (毎月)	環境異常対処訓練 (工業係) (2020年10月7日) 高圧ガス移動防災訓練 (富山市) (2020年10月8日) 駆付消防訓練 (2020年10月16、19、20、23日) 高圧ガス・毒物劇物輸送時の緊急連絡訓練 (2020年10月23日) 高圧ガス地域防災事業所緊急連絡訓練 (2020年10月23日) 秋季工場総合防災訓練 (NBL) (2020年11月5日) 北酸高圧緊急対応訓練 (2020年12月3日) 緊急連絡訓練 (おつたえ君) (2020年12月1日) 夜間通報訓練 (2021年2月15~18日) 駆付消防訓練 (2021年3月15、16、17、18日)
水島工場	有害物漏洩対処訓練 (HCN中毒) (2020年4月17日) 有害物 (NaOH) 漏洩時の対処訓練 (2020年7月15日)	製品輸送時の事故処置訓練 (図上訓練) (2020年10月19日) 工場内合同防災訓練、避難訓練 (2020年11月27日) 工場自衛防災隊消防出初式 (2021年1月6日) 有害物 (HCN) 漏洩対処訓練 (2021年2月18日)
千葉工場	工場総合防災訓練 (2020年6月12日) (合同事業所発災想定) 五井共駆付け集合訓練 (2020年7月7、8、9、10日) 夜間・休日想定防災訓練 (2020年8月26日) (自衛防災隊のみ) 情報提供指揮権委譲訓練 (2020年8月26日) 工場総合防災訓練 (2020年9月24日) ※台風接近のため、地震対応訓練に変更 緊急通報訓練 (2020年4月22日、6月24日、8月4日、 8月27日、9月16日、9月18日)	環境異常対処訓練 (2020年10月30日) 本部車展張訓練 (2020年10月30日) 工場総合防災訓練 (2020年11月26日) (自衛防災隊のみ、合同事業所発災想定) 公設・共同防災合同駆付要員走行放水訓練 (中止) 夜間・休日想定工場防災訓練 (2021年2月18日) (自衛防災隊のみ) 避難訓練 (他社有毒ガス漏洩想定机上訓練) 2021年3月 緊急通報訓練 (2020年11月19日、12月15日、12月24日、2021年1月27日)
小田原研究所 (小田原地区)	安否確認システム回答訓練 (2020年9月30日)	部署別防災訓練 (2020年10月~2021年3月、5部署)
小田原研究所 (榛原地区)	安否確認システム回答訓練 (2020年9月30日)	班別防災訓練 (2020年11月、5班)
小田原研究所 (磐梯地区)	安否確認システム回答訓練 (2020年9月30日)	防災訓練 (2020年11月24日)
千葉研究所	工場総合防災訓練 (2020年6月12日、9月24日) 夜間・休日想定防災訓練 (2020年8月26日) 緊急通報訓練 (2020年4月22日、8月4日) 研究所防災訓練 (机上訓練: 2020年9月17日) 緊急時対処訓練 (机上訓練: 9月中に各部で実施)	工場総合防災訓練 (2020年11月26日: 千葉研究所より発災想定) 夜間・休日想定防災訓練 (2021年2月18日) 避難訓練 (机上訓練: 2021年3月11~22日の間に各部で実施)
本社	安否確認通報訓練 (2020年9月2日)	—

保安防災・BCP

BCP (事業継続計画)

▶ BCP (事業継続計画) の基本的な考え方

大地震などの自然災害、あるいは当事業場に甚大な被害をもたらす危機が発生した場合を想定し、地域住民と従業員、協力会社従業員、派遣従業員の安全確保を当社の社会的使命として、BCP (事業継続計画) の方針を次のように定めています。

- ① 従業員、協力会社従業員、派遣従業員とその家族の安否確認、安全確保ならびに、事業場のある地域住民の安全確保を最優先する。
- ② 社会・地域に貢献するという意識を全社で共有する。
- ③ 被災した本社、工場、研究所、支店、営業所の保全を図る。
- ④ 保全活動に携わる従業員、協力会社従業員、派遣従業員が自律的に行動することができる仕組みを構築する。

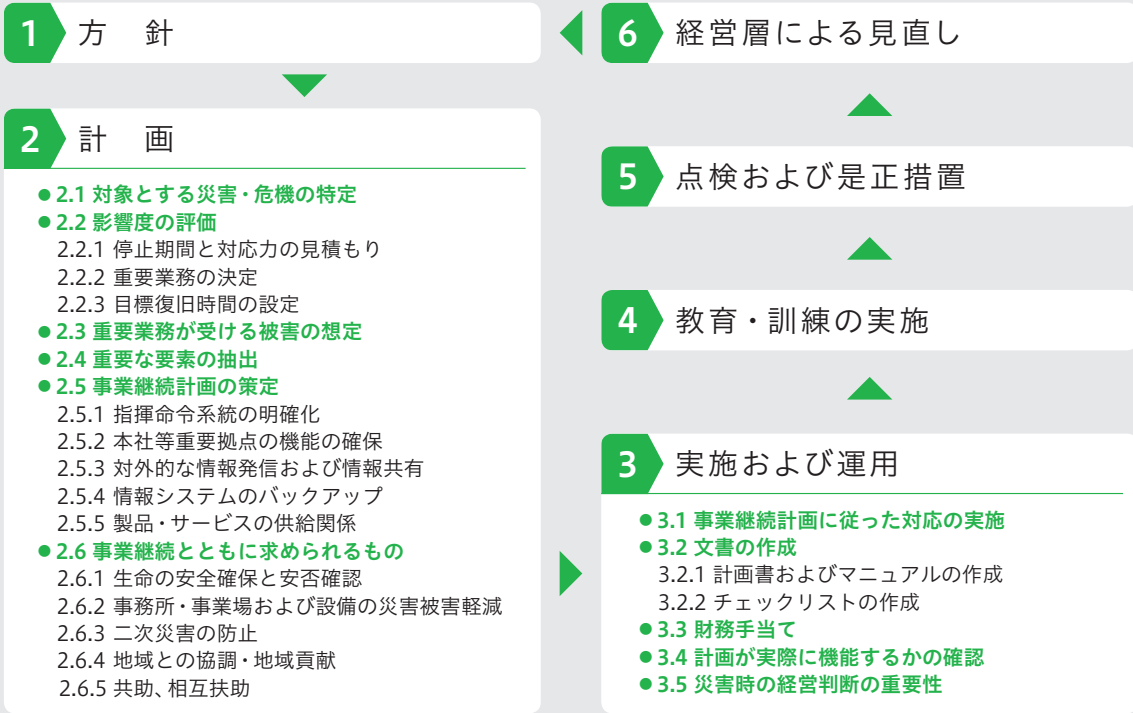
▶ お客様の要求に応じた製品供給継続

日本曹達は、自然災害などの危機が発生した際、安全の確保と同時に、製品がお客様のご要望どおりに供給できることをBCPの目的としています。この目的達成のため、PDCAサイクルによる改善をスパイラルアップさせていきます。

保安防災・BCP

事業継続の取り組み

事業継続の取り組みの流れを下図に示します。



BCPで対象としている災害・危機

- | | | |
|-------------------|--------------------|-----------------|
| 1 地震 | 8 多数の従業員（自宅・家族）の被災 | 14 原材料停止（物流を含む） |
| 2 台風 | 9 電力停電 | 15 製品物流遮断 |
| 3 大雨、洪水、津波、大雪 | 10 工業用水断水 | 16 品質問題発生 |
| 4 暴風、竜巻 | 11 外部通信障害 | 17 テロ |
| 5 火山噴火 | 12 コンピュータシステムダウン | 18 原発事故 |
| 6 設備等の異常 | 13 排水先危機 | 19 ミサイル攻撃 |
| 7 インフルエンザ・感染性疾患など | | 20 その他 |

▶ 2020年度目標と実績（KPI）（実績達成度 ◎：90%以上 ○：90～80% △：80～60% ×：60%以下）

1. 重大設備災害：目標 無災害 実績◎：重大設備災害発生ゼロ
2020年度においては、重大設備災害およびそれにかかる労働災害はありませんでした。
2. BCPの維持・改善 実績◎：第10版配付 第11版策定

▶ 今後に向けて

今後も引き続き「重大設備災害：無災害」を目標に安全管理、リスク管理、教育、防災訓練などを継続的に改善して行います。また、BCPIは計画的に改善、見直しを行います。